

サービス担当者会議の要点

利用者名 A 様 作成者氏名 阿波 徳子 作成年月日 令和 4年 3月 日

開催日 令和 4年 3月 日 開催場所 開催時間 開催回数

会議出席者	所属（職種）	氏名	所属（職種）	氏名
	本人	A	訪問看護ステーション	訪問看護師
	夫	A夫	居宅介護支援事業所	阿波 徳子
	ヘルパーステーション	サービス提供責任者	福祉用具業者	福祉用具専門相談員
	クリニック	主治医		
検討した項目	1. 本人と家族の意向確認 2. 現状確認と生活上の課題の確認 3. 課題ごとのリスク及び役割の確認			
検討内容	初回プランのため、状況をみながらケアを進めていく。 1. 本人と家族の意向確認 （夫）本人は、痛みに我慢強く訴えてこない。なるべく好きなように、自宅で過ごさせたい。 （本人）最後まで自宅で過ごしたい。痛みや苦しさ心配だけど、先生や看護師が来てくれるので安心。家にきたことで、気持ちが違う。軽くなった気がする。 2. 現状確認と生活上の課題の確認 （J主治医）痛みは、痛み止めで安定している。今後、痛みが出てくる可能性がある。我慢せず、すぐ伝えること。かかわっている方々には、本人の様子を訪問看護師や当院に伝えてほしい。また、その他、お腹が張るとか、体がだるいなどの症状が出てくるから神経質になる必要はないが、体の変化はよく観察すること。特に制限なく食べられるものを食べていい。痩せてくるから、皮膚の状態にも注意するように。 3. 課題ごとのリスク及び役割の確認 ◎現在は、症状が悪化しているので週1回の訪問看護で様子を見て、必要時増回等を検討する。			

	<p>◎入浴は、体調のいいときに夫の介助で入浴したいという本人の意向であった。しかし、夫は不慣れで不安であり、また、体調管理の前提があり訪問看護の介助による入浴とする。その際は、ふらつきによる転倒リスクや、皮膚の観察などを確認していく。</p> <p>◎食事は、本人の好きなものを中心に。ヘルパーの買い物や調理を検討したが、夫の食べるものを食べる程度でいいとのことで、経過をみることにする。</p> <p>◎朝と夜のケアについて、ヘルパー導入を検討するが、そこは、夫の希望で夫が行うことにした。介護負担等を考慮しつつ、いつでもヘルパーのサービスが入れることを伝える程度とした。</p> <p>◎排せつは、トイレでを希望しており、夜間は移動もあり、転倒の事故を考慮してポータブルトイレはベッドサイドにおく。</p> <p>◎Aさんの状態について、各担当に経過が分かるよう、連絡ノートをつけることで同意が得られる。夫にもお願いする。</p> <p>◎ヘルパーステーションのサービス提供責任者より提案がある。生け花を生けられてはとの意見から、Aさんもケアプランへの追加を同意する。</p>
結論	<p>①訪問看護による入浴は、訪問看護師による状態確認と一部介助とする。</p> <p>②夜間は、ポータブルトイレ利用も考慮する。</p> <p>③体調のよいときは、「生け花を生ける」を追加する。</p>
残された課題	<p>①Aさんの体調をみて、訪問看護の増回を検討する。</p> <p>②介護の状況をみながら、ヘルパーによる支援を検討する。</p> <p>（次回は1か月後とする）</p>